

白方宣年作
伊予緋「しずくの律」

「天然藍や木綿といった自然素材を、手仕事で負荷をあまりかけずに仕上げれば、素材の存在感を生かせるはず。僕が魅力を感じるのはそういうものです。使う人とともに風合いを増して、愛着あるものになるのではないかと」と白方さん。花とともに好きなモチーフという幾何学模様を、表情豊かに織り出した一枚です。真野さんが訪れたのは、伊予緋の祖と伝えられている鍵谷カヲを讃えた頌功堂。

きもの／白方宣年（イオリ工芸）帯／248,000円（仕立て上がり価格 銀座もとし和織）帯下／道明 帯あげ／みふじ（加藤萬）そりり／四谷 三栄

大正
若者 鍵谷カヲ 姫頌功 碑

